

分野	長寿安心くまもと	戦略	安全安心で住みやすい社会
		重点的に取り組む施策	犯罪抑止総合対策

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	交番・駐在所の機能強化	132,036 126,714	安全で安心して県民が生活できる平穏な社会づくりを目指し、交番相談員を効果的に配置することにより、「空き交番」の解消と警察官による街頭活動の強化を図る。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・交番の不在対策及び交番勤務員によるパトロールの強化 ・複数配置された交番相談員の交番による地域連携推進事業（子どもの見守り活動など）を「地域社会との連携と協働強化活動」に改称し、その対象交番を8交番から22交番に拡大  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・警察官によるパトロール等街頭活動を更に強化するために、交番相談員の更なる効果的・弾力的な運用が必要
	県警地域課	129,173		
2	安全・あんしんサポート事業	42,722 36,254	県下における高齢者等の交通事故及び振り込み詐欺等の犯罪被害を抑止するため、防犯・交通安全教育広報啓発活動に従事する「安全・あんしんサポーター」を雇用し、高齢者等世帯個別訪問活動などを実施することにより、高齢者の防犯・交通安全意識を高揚させ、「長寿安心くまもと」の実現を図る。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・高齢者等世帯25,389世帯に対する訪問啓発活動、金融機関ATM機付近における640回の現場指導活動等を実施した結果、事業実施対象地域（8警察署管内）において高齢者被害の振り込み詐欺が大幅に減少（前年比：認知件数-17件、被害総額-約5,100万円）  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・高齢者と直接面接して訴える訪問活動による啓発効果は非常に大きいことから、本年度の被害発生状況の検証結果をもとに、より効果的な活動となるよう、対象となる地域や訪問体制の検討が必要
	県警生活安全企画課・交通企画課	39,420		
3	安全で安心なまちづくり事業	32,318 29,849	高齢者等の安全・安心を確保することを目的として、保護を要する高齢者等の手配や高齢者等の安全・安心に係る情報をメール発信し、行方不明者の迅速な保護や高齢者等に対する見守り活動の促進を図る（シルバー見守りネット）。また、ゆっぴー安心メールや犯罪マップにより効果的な情報発信を行い、県民の防犯意識の向上を図る。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・タイムリーな情報発信の推進 - ゆっぴー安心メール（97回）、犯罪マップシステム（111,322アクセス）による犯罪情報及び防犯情報の提供 ・防犯ボランティアに対する物的支援 - 統一エフォーム、帽子、腕章等延べ5,135点を配布するなど、ボランティア活動員の自主防犯意識を向上  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・本年7月から運用を開始する「シルバー見守りネット」については、制度の周知とネットワークの登録者の普及に努めるとともに、行方不明高齢者等の手配及び高齢者等の安全安心に係るタイムリーな情報提供を図る。
	県警生活安全企画課	28,389		
4	みんなが安心して歩ける街づくり事業	-	防犯ボランティアに対し、統一エフォーム、活動用帽子等を配布し、効果的なパトロール活動を支援する。	平成22年度の取組みの実績、成果 -
	県警生活安全企画課	2,617		事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・各防犯ボランティア団体への効果的な物的支援とともに、ボランティア団体の自主的活動の更なる推進と現役世代の防犯ボランティア活動加入促進の働きかけが必要
5	自主防犯活動サポート事業	5,300 2,908	高齢者を中心に活動している自主防犯団体に対して、パトロールのノウハウなどをまとめた「防犯パトロール手帳」を交付することにより、活動の更なる活性化を図り、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・「防犯パトロール手帳」を1万2千冊作成し、市町村を通じて、各防犯ボランティア団体に交付してパトロール活動等の充実・強化を図った。  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 -
	くらしの安全推進課	-		
6	セーフティパトロール活動委託事業	158,688 155,471	緊急雇用創出基金事業の一環としてセーフティパトロール活動を警備会社に委託するもので、繁華街等における自転車盗、オートバイ盗、車上ねらい等の犯罪抑止活動、子どもの安全確保のための見守り活動等を実施する。	平成22年度の取組みの実績、成果 ・6警察署21交番管内において、街頭での犯罪抑止活動や子どもの見守り活動等を実施した結果、刑法犯認知件数は、活動地区を管轄する14交番において減少、対象区域全体では389件の減少（前年比）  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・より効果的な犯罪抑止活動となるよう、管轄区域ごとの活動内容を随時検証し、活動区域や、活動時間帯、活動内容等の弾力的な見直しを実施
	県警生活安全企画課	212,859		
7	犯罪の起きにくい安全安心まちづくり推進事業	2,711 1,366	行政、警察、学校、事業者、ボランティア、地域住民等が連携・協働して、犯罪の起きにくい安全安心まちづくりを推進することにより、県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。 ・防犯に関する広報・啓発 ・地域防犯リーダーの育成 ・地域安全マップ作製指導者の育成	平成22年度の取組みの実績、成果 ・平成22年の刑法犯認知件数は、15,309件（対前年比10%減）と7年連続で減少した。 ・自主防犯活動団体が、平成23年3月末で650団体、約50,450人と、地域における防犯活動が着実に浸透している。  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・自主防犯活動団体は設立後日が浅く、組織的な基盤も弱いことから、警察や市町村とも連携しながら、パトロール資機材の支援、地域の犯罪実態や活動ノウハウ、先駆的な活動事例に関する情報提供等により自主防犯活動の活性化を図る。
	くらしの安全推進課	2,029	・事業推進体制の整備	

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
8	高齢者等による地域の安全・安心確保事業  くらしの安全推進課	-  954	交通安全や防犯意識の高い高齢者（世帯訪問支援員）の養成及び高齢者宅への訪問・啓発活動等による地域の安全・安心の確保。 ・高齢者世帯訪問活動 ・高齢者の交通安全等の実態調査	平成22年度の実績、成果  -  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・交通・防犯講習会等への参加の少ない高齢者等に向けた啓発が課題であるため、交通安全や防犯意識の高い高齢者の養成及び訪問活動の実施により地域の安全・安心を確保する。
9	振り込め詐欺防止のための総合対策事業  県警 生活安全企画課	357  339  312	自治体、金融機関等の関係機関、団体との連携による被害防止キャンペーンなどの機会に、振り込め詐欺被害抑止のチラシを配布し、被害防止の意識啓発を図る。	平成22年度の実績、成果 ・広報チラシを22万枚作成し配布 ・振り込め詐欺予防プログラムに基づき、振り込め詐欺ゼロの日(毎月15日)におけるATM警戒、月毎の重点項目設定に基づく被害防止活動等を推進し、前年比で認知件数が48件、被害額が約6,700万円減少  事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・オレオレ詐欺については全国的に増加傾向にあり、また、新たな手口が次々と発生していることから、より効果的な広報啓発活動に努めるとともに、被害に遭いやすい高齢者層を中心に、自主防犯意識の更なる向上が必要